

んぽらんぽらん Mpola Mpola

From Kampala
(カンパラより)
協力隊通信 1号
29/July/2015

“Osiibye otyano?” (オシービエ オチャー/:今日の調子はどうだい?)

“Burungi!!” (ブルンジ:元気だよ!)

“Ate Gwe?” (アテグウェ:あなたは?)

“Jendi!!” (ジェンディ:元気だよ!)

“Abeka bali batya?”
(アベカバリバチャ:家族はみんな元気ですか?)

“Bali burungi!” (バリブルンジ:みんな元気だよ!)

夜明けの風景
午前7時には、
たくさんの方が仕
事に出かけます!



ウガンダ人はあいさつを大切にします。友達や知り合いはもちろん、街中で偶然あった人にもあいさつをすると、笑顔でかえしてくれます。「調子はどう?」と聞くと、たいてい「元気だよ!」と答えます。また、ウガンダ人は、家族やきんじょの人、友達をととても大切にしています。そのため、あいさつの中でも、相手の家族が元気かを聞きます。

ウガンダは、英語が公用語(みんなが話す言葉)です。そして、英語以外にも、現地語というものがあ、地域によって異なった言葉を話しています。私の住んでいる地域は、ガンダ族という人々が多い地域で“ルガンダ語”を話します。その他にも、北部で話されている“テソ語”、東部で話されている“ルマサバ語”、西部で話されている“フニョロ語”など様々な言語が存在しています。似ている言語もありますが、全く異なるものもあり、正式な場では英語が使われます。

とはいうものの、「英語を話すと尊敬され、現地語を話すと仲間と思われる。」とされているように、現地語を話すと人々の顔に笑顔が現れます。そして、そこから現地語で、ものすごいスピードで話しかけてきてくれますが、ほとんど理解できません。。。苦笑 これから、2年間で現地語をたくさん使って、ペラペラになって日本に帰国したいと思います!!

Webale nnyo!

(ウエバレニョ~)

ありがとうございます!



シティーランゲージセン
ターにて!
約1週間、ルガンダ語を
勉強しました!

☆ウガンダのマーケット☆

外国に行けば一番面白いのがマーケット(市場)でお買い物! 食料、衣服、生活用品、本などで、日本にはないものや、値段の違い、買い物の仕方にショックを受けました。今回は、マーケットで驚いたことベスト3をご紹介します!

第1位 お店の人はみんなのんびり屋さん

お店やスーパーマーケットでは音楽が流れているのですが、そこでなんと“あやしい動きをする人が!”よく見ると、音楽に合わせておどっているではありませんか。とても陽気なウガンダ人ですね! また、のんびりした性格のせいか、工作中でもずっとおしゃべりしていたり、携帯電話に夢中になっていたり、、、本当にお金もうけをする気はあるのか!?と思うくらいにのんびり仕事をしています。

※全てのウガンダ人がそうでは、ありません。あくまでよく見られる光景だということです。

音楽に合わせておどる、セキュリティガードの兄ちゃん



第2位 なんととってもフルーツが安い!

- *パイナップル 一個...500UGX (20円)
- *バナナ 一房...1500UGX (60円)
- *マンゴー 一個...300UGX(12円)
- *パッションフルーツ 12個...2000UGX(80円)



熱帯気候のウガンダでは、色々な作物がなります。特に、マンゴー、パイナップル、バナナ、トウモロコシ、キャッサバ、アボカドは、種をまいて放っておいてもできるので、そこら中になっています。そのため、マンゴーやアボカドは買うものではなく、“もらうもの”という感覚だそうです。

第3位 値段が元の半額以下になる!

ウガンダの市場では、値段が決まっているものが少ない。なので、値段交渉(高いよ~! まけてちょーだい!)をして、お互いに納得した値段で買う・売ります。

例えば、、、

☆スカート 一着☆

52000UGX(2080円)が ➡ 25000UGX(1000円)に!

☆キテンジ(アフリカの独特のもようの布)☆

30000UGX(1200円)が ➡ 25000UGX(1000円)に!!

☆ケトル(電気ポット)☆

50000UGX(2000円)が ➡ 30000UGX(1200円)に!!!

ウガンダの市場で買い物をする時は、安くなるかも!?ということのをいつも忘れずに買い物にGo!

